

光は東方より（新しき世界へ 1971 年 11-12 月号）

無限の自由
永遠の幸福
絶対の正義

世界人共和国第一回議会
桜沢無任所大臣の提言

1959.5.4～8

オーストリア・ウィーン市にて

戦争は西方より東方へ輸入された。東洋はその五千年来の”和の原理”をいま西方に贈る秋だ。

諸君！

過去45年間、私は東海の小島のはてで西洋各地に起る「平和活動」「世界政府運動」国連、ユネスコ、シュワイツェル、B・ラッセル、ボイド・オーア等の平和への要求をハッキリ聞いた。

しかしその45年間に平和の女神はイツモそしてマスマスヒックリかえされ、ふみにじられ、暴行されている。

この矛盾はナニを意味するか？

スベテの西方の平和と自由に対する要求と、その計画と実行が無為無能無効であるコト、単なるセンチメンタリズムにすぎなかったコトをハッキリ示すのではないか？

それらの人々や国際会議の要就、スベテこの西方文明の光かがやく2世紀と云う舞台でマスコミの波にのって広められ伝えられている。ソレにもかかわらず全く成果を上げていない！

カレラは方向をマチガエているのではないか？つまり彼らは家をたてるのに大工や左官ばかり道具や材料ばかり集めて肝心カナメの設計者—アタマを忘れていたのである。

真理とスベテの人間の不幸の根源を探るモノとして50年アラユル困難をつぶさになめた私は、20年前に、この哀れな人間とその社会を改造する原理と方法を発見した。以来、私は全世界のりーター達や行きずりに袖ふれ合う人々に、この原理と方法を個人的に、また社会的にこころみるコトを強調して来た。

その原理と方法は—

(一) 原理—西洋人と西洋化された東方人の平和に対するネガイと要求は非常に、そしてあまりに物質的、技術的、具体的、反対にその思考力にかいてオセンチであり、反動的で

あり、幼稚であり、大観達観がなく、あまりに形式論理学にとらわれ、哲学的にはゼロ。観念論的、唯物論的でありすぎた。

ここにスベテノ西洋の平和の理論と実行の失敗の原因がある。

われわれは数千年来、東洋諸国間の平和と自由を保証してきた実用弁証法「無双原理」万法帰一の原理を新しい世界平和と自由の原理として提供する。和の原理である。

(二) 実行—われわれの世界市民共和国の政府は永遠の平和と絶対の正義と、無限の自由の原理を研究し、宣布し、デモすべきである。このような原理は数千年前に東洋では探究され、発見され、実行され大きい成果をあげてきている。

数千年来、西洋文明が 7~80 年前に輸入されるまで、日・印・支・朝鮮・南方諸国の間には、ただ友誼と贈物の交換があっただけで弾丸や血の交換はなかった。だから、われわれはこの平和と正義と自由の原理、実用弁証法を全世界に見本とともに輸出すべきである。

正しい食生活と無双原理の生物学的、生理学的「行」を原則とする新しき、老と病と、生の若しみと死の苦しみと法と云う暴力のない国の見本を造るコトである。

あそばざるモノ 食うべからず

ただ、この原理は、あまりに平和的であり、カンノであり、しかも数千年の年月をへて古色蒼然としているので残念なコトに東洋人に忘れられ、トクニ最も西洋化を急いだ日本人によっては足げにされてしまった。

それホドだから、西洋にもタクサンこの哲学のチャンピオン—老子、孔子、孟子、仏陀、ラマクリシュナ、オーロビンド等の名は知らされているのに、その原理が全く理解されていないのは当然である。

だから、われわれは世界入共和国の市民の間にまず第一にササヤカナ東洋哲学講究所をつくろう!

東洋哲学はスベテの東洋文化、思想、宗教、技術の根底であるが、実は一つの弁証法にすぎない。

それはスベテノ対立を相補性に転換する奇跡の技術である。ソレはパラドキシカル(逆説的)であり、物理界にもモラルにも通用する。だからこれは唯一の精神的原子バク弾である。

私は案内役を買う。心を同じくする人々はスグ私に連絡されたい。老と病と生きる苦しみと死の苦しみなき国は恐怖と戦争と法律の無常な国であり、その市民は「あそばざるモノ食うべからず」を唯一の黄金律として楽しむ国である。

この和の原理—実用弁証法は、スベテの対立相克を唯一の相補性に転化するキワメテ易しい原理で、別にそれを国家や世界社会に仕立てなくとも、実行第一日から自分だけはその王国、天国で思う存分楽しめると云う優越性がある。これはマルキシズムや資本主義が将来必ず採用する方法である。

(新聞「新しき世界へ」No.283、1959.6.1より)

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください